

動 き

長野市陸上競技協会 会報 第 43 号

発行日 平成 26 年 8 月 12 日
発行所 長野市陸上競技協会
発行人 内山 了治 (編集・監修)
編集人 田島 康彦
URL: <http://nriku.jp/>
E-mail: info@nriku.jp

題字：長野市陸協
三代目会長 山浦 保先生

十種競技 8308 点

1日目		2日目	
100m	11秒24	110mH	14秒90
走幅跳	7m15	円盤投	50m17
砲丸投	15m19	棒高跳	4m80
走高跳	2m03	やり投	69m11
400m	49秒66	1500m	4分32秒62



日本新記録誕生
おめでとうございます
一般財団法人長野陸上競技協会

第98回 日本陸上競技選手権大会 (混成競技) **第30回 日本ジュニア陸上**
兼 **第17回 アジア競技大会 (2014/仁川) 代表選手選考競技会** **第15回 世界ジュニア陸上競技選**

■主催：日本陸上競技連盟 ■共催：長野市、長野市教育委員会、信濃毎日新聞社 ■主管：長野陸上競技協会 ■後援：長野県、長野県教育委員会、長野県体育協会、
■協賛：アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、日本航空、株式会社ニシ・スポーツ、株式会社セレスポ ■地元協賛：しなのメイト株式会社、株式会社信州坂

第98回日本選手権大会(混成競技)は5月31日・6月1日に長野市で開催され、右代啓祐選手が8303点の日本新・大会新で5連覇を飾った。

全国高校総体：溝口(長野東)女子5000mW 3位, 浅川(長野)男子400m 7位

残暑お見舞い申し上げます。台風 11 号の被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

上記の「日本混成」では、右代選手の日本記録誕生の瞬間、競技役員をはじめ数多くのご来場の皆様とその喜びを共有されたと思います。3回目の長野市開催で、天候にも恵まれ競技会運営も順調に進み最高の舞台となりました。日本記録誕生の瞬間は容易く巡りあうものではありません。地元開催ならではの感動の瞬間であったと思います。

さて、今年度も早いものでいよいよ秋のシーズンとなります。前半は日本混成をはじめ数々の競技会・事業に、長野市陸協会員はじめ多くの皆様のご協力を賜りました。お礼を申し

上げるとともに、後半もこれまで以上のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(長野市陸協理事長 内山了治)

☆☆ もくじ	☆☆
▶日本混成・IH 結果 -----1	▶陸協を支えて下さる方々-----6
▶日本混成特集 -----2	▶Hope さん -----6
▶市町村対抗駅伝優勝 -----4	▶長野市陸協からのお知らせ -----7
▶長野県春季大会 -----4	▶祝賀会 -----7
▶国体予選結果 -----5	▶審判員講習会・編集後記 -----7
▶全国高校総体結果 -----5	▶富士通クリニック -----8

日本混成：2位中村選手も8000点超え、七種競技桐山選手連覇



上 七種競技表彰：左から2位竹原・優勝桐山・3位松原選手
 左 十種競技表彰：左から2位中村・優勝右代・3位音部選手
 下 七種競技出場者一同 最終種目 800m 終了後



自己新	第98回日本陸上競技選手権大会(混成競技)結果				第30回日本ジュニア陸上競技選手権大会(混成競技)結果			
順位	十種競技 選手名/所属	総合 得点	七種競技 選手名/所属	総合 得点	ジュニア十種競技 選手名/所属	総合 得点	ジュニア七種競技 選手名/所属	総合 得点
1	右代 啓祐 ウシロ ケイスケ スズキ浜松アスリートクラブ	8308 日本新 大会新	桐山 智衣 キリヤマ チェ モンテローザ	w5500	阿部 誠 アベ マコト 国際武道大	6578	澤田 珠里 サワダ ジュリ 白梅学園高	5051
2	中村 明彦 ナカムラ アキヒコ スズキ浜松アスリートクラブ	8035	竹原 史恵 タケハラ フミエ 長谷川体育施設	5419	前三盛 敦貴 マエミツモリ アツキ 筑波大	6465	速水 舞 ハヤミズ マイ 都立駒場高	4720
3	音部 拓仁 オトベタクミ 富士通	7604	松原 恵 マツバラ メグミ 筑波大	w5342 5205	黒田 貴稔 クロダ タカトシ びわこ成蹊スポーツ大	6384	高橋 このか タカハシ コノカ 白梅学園高	4663
4	染谷 幸喜 ソメヤ コウキ TeamAccel	7597	富山 朝代 トミヤマ アサヨ 東大阪市陸協	5238	乾 大輔 イヌイ ダイスケ 関西学院大	6349	山根 芽衣 ヤマネ メイ 国土館大	4451
5	川崎 和也 カワサキ カズヤ 順天堂大	7515	伊藤 明子 イトウ アキコ 筑波大学	w5162	片山 和也 カタヤマ カズヤ 中京大	6327	佐藤 有沙 サトウ アリサ 中京大	4428
6	能登谷 雄太 ノトヤ ユウタ ニューモード	7346	宇都宮 絵莉 ウツノミヤ エリ 園田学園女子大	5145	富田 佳輝 トミタ ヨシキ 順天堂大	6078	吉村 彩加 ヨシムラ アヤカ 長野高	4172
長野 出身	村中 智彦 ムラナカ トモヒコ 順天堂大 ← 松商学園高	14位 6561	佐藤 静香 サトウ シズカ 新潟医療福祉大 ← 小諸高	11位 4816	長野県出身者の出場無し			
長野 出身	三村 瑞樹 ミムラ ミズキ 東京学芸大 ← 伊那北高	15位 6356	川上 美葉 カワカミ ミハ 国土館大 ← 小諸高	19位 w4450 4440				
長野 出身	小宮山 彦毅 コミヤマ ゲンキ 東京学芸大 ← 上田高	途中 棄権	大目方 紗愛 オビナタ サエ 中京大 ← 文化学園長野高	21位 w4348 4288				



長野クリスタルバトンの演技披露(上)、表彰盛り上げ(下)

5月31日・6月1日に長野市営陸上競技場に於いて、第98回日本選手権混成、第30回日本ジュニア混成が開催された。

長野陸協としては、長野での最終回となる本大会を成功させるため、今年こそ「三度目の正直」としてトラブル無く順調に運営し、日本新記録の誕生へ繋げたいという一心で、細心の注意を払い陸協が一体となり準備を進めてきた。3年前は最終日の雷雨による中断、昨年はスタート信号のトラブルで初日の出鼻を挫かれ、運営面は2回とも「五月晴れ」のようにならなかった。今回は、資格審査で、地元陸協推薦の選手がジュニア選手権に出場できないこと、並びにジュニアとシニアのエントリミスというトラブルがあり、番組編成を再度行うなど想定外の時間的損失により、プログラム校正など最後の詰めの甘さがあったが、何とか当日を迎えることができた。

大会を振り返ると、1日目は天候に恵まれ、大きな運営ミスもなく順調に進んだ。十種競技は中村選手(スズキ浜松AC)が自己最高となる4202点で、右代選手(スズキ浜松AC)を82点上回る高得点でリードした。右代選手は自己記録より39点低いものの、各種目ずつ加算し十分日本記録を狙える状況であった。七種競技も好記録続出で、連覇を狙う社会人1年目の桐山選手(モンテローザ)が自己記録を上回る3314点でリードし、竹原選手(長谷川体育施設)3162点、大学1年の伊藤選手(筑波大)3161点、富山選手(東大阪市陸協)3157点と続いた。

2日目も晴天となったが風が強く、110mHの走路選定に悩まされたが、マニュアルどおり確認し30分前にホームストレート側に確定した。七種競技走幅跳も同様で、総合結果が追風参考記録になる可能性が大きかったが追風で実施、十種競技棒高跳でも危険性が増したことからマット位置を変更した。これに伴い十種競技が約1時間遅れたが、無事終了できた。

注目の右代-中村選手の勝負と日本新記録のへ期待は、2日目第一種目110mHで中村選手が14秒21の好記録で差を168点まで広げたが、続く円盤投で右代選手が自己最高の50m17の大記録をマーク、ここで290点差を付け逆転し142点リードした。次の棒高跳では中村選手が右代選手を10cm上回る4m90に成功し31点の差を詰めたが、やり投で右代選手が69mのビックスローで突き放し、同時に日本記録も手中とした。1500mでは中村選手が詰めたものの、右代選手も良く粘り4分32秒でフィニッシュし8308点の大記録で逃げ切った。この記録は7月末の世界



新しいタイマー(上)、従来のタイマーはバック側で利用(下)

ランキング6位である。中村選手も初(日本人では二人目の)8000点超え、8035点は世界28位にランキングされている。これらの結果により、後日、第17回アジア競技大会(2014/仁川)日本代表選手に両名とも選出された。この他、十種競技では上位6名が自己記録を更新するなど質の高い試合となった。

一方七種競技の2日目は、桐山選手が3種目を無難にまとめリードを守り切り連覇し3回目の優勝を遂げた。また、2位竹原・3位松原・6位伊藤選手と筑波大勢が上位に食い込んだ。地元陸協推薦では、佐藤選手(新潟医療福祉大)がPBを300点以上伸ばし、初の日本選手権七種競技出場で11位となった。

大会・競技運営面では、アナウンサー業務について、過去2回お世話になった石井氏がアドバイザーとなり、白澤主任・熊谷アナ他県内勢が担当し円滑に競技会を進めた。BGMや効果音もH28年全国中学を視野に、酒井実行委員(県中体連専門委員長)が中心となり企画運営し、国体・高校総体等のレベルに接近できたと思われる。また、競技種目の隙間を埋め、大会を盛り上げるために、地元の「長野クリスタルバトン」チームのメンバー46人によるバントワリングの披露と表彰を華やかにして頂き、選手をはじめ関係者から好評を得た。

気になる来年度以降の開催については、日本陸連からの要請もあり、長野陸協実行委員会では「東京オリンピック・パラリンピックを控え、選手強化を主眼として、長野陸協の皆さんが気持ちよく取り組める体制を整えればお引き受けしよう」という原案を立てたところである。今後、長野陸協理事会等で諮られ日本陸連と協議することと思われる。

日本選手権という陸上競技界の国内最高の大会を経験できた財産は、競技運営や選手強化に役立つ。H28年に迫った全国中学大会に向けても大きな土台作りになっている。さらには競技人生・競技役員人生の中で「日本新記録」の場面に関われる機会はそう多くはないだろう。また、この3年間で長野市営陸上競技場の環境も大きく進化させて頂いた。日本初の世界陸連Class-II公認、バック側直走路・写真判定システム、フライング判定装置、棒高跳マット・ハードルはじめ各種用器具の新規購入、フィールド芝全面養生、役員室空調、便所の改修など。長野市、市教育委員会、市体協そして指定管理者のシンコースポーツ(株)の皆様をはじめ多くの皆様のご理解ご尽力に感謝申し上げます。今後は、大きな課題である日本陸連第一種競技場の継続(サブトラックの400m全天候化)、遅れている大型スクリーン・照明・雨天走路・バック側観客席の設置などを実現していただくことを切に要望致します。(文責 日本混成長野陸協副実行委員長・市陸協理事長 内山)

杉野新監督 市町村対抗駅伝優勝 デビュー、小学生はV奪還

第24回長野縣市町村対抗駅伝競走大会、第10回長野縣市町村対抗小学生駅伝競走大会は、4月29日松本市で開催された。長野市チームは、杉野新監督のデビューを優勝で飾った。小学生チームは、昨年上田市に1秒差で敗北した雪辱を果たし見事優勝した。

秋の県縦断駅伝に向けてさらにトレーニングを重ね、市民の期待に答えて欲しい。

(写真は市長訪問)

◆第24回市町村対抗駅伝大会の結果
優勝 2時間1分23秒
(2位 飯田市2:04:01, 3位 上田市2:04:22)
①・・・区間新記録

	距離 (km)	区間 順位	氏名	所属
監督			杉野 仁	長野赤十字病院
1区	2.7	①	和田 有菜	川中島中学校3年
2区	3.1	①	丸山 幸輝	川中島中学校3年
3区	5.8	13	寺島 慧梧	長野県警察機動隊
4区	6.2	①	平田 和也	しなのエア・ウォーター
5区	3.1	2	小林 希良莉	長野東高校2年
6区	5.8	3	長谷川 久嗣	北部衛生施設組合
7区	6.2	1	大野 雄揮	信州大学
8区	5.645	1	割田 雄磨	(株)コヤマ
補欠			小川 健三	長野市消防局
補欠			中村 純和	中部電力長野

◆第10回小学生駅伝大会の結果
優勝 21分17秒
(2位 駒ヶ根市21:25
3位 松本市21:28)

	氏名	所属
監督	竹内 万祐	(有)タケシゲ
1区	淀 小南津	三本柳小5年
2区	丸山 翔平	三本柳小5年
3区	永原 柚風	三本柳小5年
4区	越 陽汰	昭和小6年
補欠	岡村 康汰	三本柳小5年
補欠	酒井 愛	三本柳小5年

◎総合距離は6km(1.5km×4区間)

補欠	保倉 敏樹	川中島中学校2年
補欠	小林 成美	川中島中学校2年



長野県春季大会 芋川選手(長野吉田)2m09に挑戦



第54回長野県陸上競技春季大会兼第57回東海陸上競技選手権大会予選、東日本大震災復興支援平成26年度国民体育大会長野県予選会は、平成26年4月26日(土)-27日(日)に松本平広域公園陸上競技場で開催された。男子走高跳は26日に行われ、昨年の日本ユース3位入賞の長野吉田高校3年 芋川 駿選手が2m06で優勝した。県内で2m09にバーが上がったのは久しぶりであり、今シーズンの活躍が期待される。芋川選手は本会報42号 Hopeさんで紹介)。女子1500mでは、予選で川中島中3年 和田 有菜選手が4分37秒6の大会新記録(決勝棄権)、長野東高校2年 久保田 里菜選手が4分38秒54(大会新)で初優勝した。

国体長野県予選会 塚原選手(富士通) 10秒38 の快走

第 69 回東日本震災復興支援 平成 26 年度国民体育大会長野県予選会が平成 26 年 7 月 5 日(土)～6 日(日)、長野市営陸上競技場において開催された。成年男子 100m に久しぶりに出場した塚原直貴選手(東京・富士通)は、10 秒 38(-0.2)で快走し、会場を沸かした(写真下)。同 110mH は太田和彰(松代高→日大 4)が 13 秒 96(写真右下)、走幅跳は嶺村鴻汰(大町高→筑波大 4)が 7m59 で順当勝ちした。また、H26 年度日本選手権で入賞した長野県内選手の紹介と表彰が行われた(写真右上)。



秩父宮賜杯第67回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

全国高等学校総合体育大会陸上競技会は 7/30(水)～8/3(日) 山梨県甲府市で開催された。

長野市関係は 2 名が入賞した。引率者も救急車で搬送されるほどの暑さで、長野県勢には厳しい結果となりました。

<入賞者>

女子 5000mW 溝口 友己歩 長野東 2 **3 位** 23 分 45 秒 80
予選 3 着 24 分 29 秒 95
男子 400m 浅川 優人 長野 3 **7 位** 48 秒 23
予選 1 着 47"54、準決 3 着 47"54

<予選等の結果>

—男子—

100m 池田 彪我 須坂東 3 予選 7 着 11"18(-1.5)
200m 浅川 優人 長野 3 予選 6 着 22"45(-1.7)
3000mSC 大野 力 長野日大 3 予選 16 着 10' 15"84
5000mW 石井 克弥 長野日大 2 12 位 22' 36"02
予選 5 着 21' 53"95
走高跳 芋川 駿 長野吉田 3 13 位 2m00
内山 貴仁 長野日大 3 記録無し

—女子—

400m 小山 綾菜 長野吉田 3 予選 7 着 58"23
山口 晏奈 長野日大 3 予選 6 着 58"75
3000m 小口 雪音 長野東 3 予選 8 着 9' 30"64
玉城 かな 長野東 3 予選 8 着 9' 29"81
塩崎 葵 長野東 2 予選 11 着 9' 36"91

400mH 小山 綾菜 長野吉田 3 予選 5 着 1' 04"48
走高跳 岩崎 ちひろ 長野吉田 2 23 位 1m60
やり投 羽鳥 萌子 長野東 3 15 位 40m92
七種 吉村 彩加 長野 2 19 位 4431 点

長野県内の高校生の結果は、高体連陸上競技専門部からご確認下さい。県内全体でも入賞者は、溝口さんと浅川君の 2 名のみでした。決勝進出も、5000mW 石井君の他、三段跳 窪田君(諏訪清陵 3)14m36 で 11 位、女子走高跳 山我さん(野沢北 3)1m66 で 11 位、女子走幅跳 西村さん(伊那北 2)5m55 で 9 位、七種競技 細田さん(上田染谷 2)4329 点で 21 位と近年にない少数であった。全国高校選抜、国体、日本ジュニア、日本ユースでの活躍を期待したい。

フライング判定装置から 出力されるデータ

- ① リアクションタイム
ピストルが鳴ってから
競技者が最初にブロックを
離れる時間・・・1/10 より早いと
フライングと判定される。
- ② スターターの「用意・セット」
からピストルまでの時間

Lane No.	Reaction Time
4	0.157sec
5	0.157sec
6	0.178sec
3	0.189sec
6	0.191sec
7	0.200sec
1	0.205sec
2	0.220sec
9	0.223sec

*... False
Ready Time: 1.752s

第12回 市陸協を支えて下さる方々 シンコースポーツ(株)の皆様

H26年4月から陸上競技場・野球場を管理される方々のメンバーに交代がありました。
今後ともよろしくお願い申し上げます。



長谷部 吉正様

浅岡 佳史様

宮澤 良雄様

湯本 恒雄様

相沢 悦男様

北條 達夫様

中村 益三様

小林 隆生様

(写真は一部合成です)

第33回 Hope さん

H26 北信越高校 3000mSC 優勝

長野日大高等学校 3年 大野 力 君

インターハイに向けて



私が本格的に陸上競技を始めたのは、高校へ入学してからで
とばかりの中、多くの方々に支えられながら陸上競技に打ち
込んで来ました。

私が本格的に陸上競技を始めたのは、高校へ入学してからの
とばかりの中、多くの方々に支えられながら陸上競技に打ち
込んで来ました。

時間を越えて指導して下さる顧問の先生方をはじめ、苦
しい時・辛い時も、共に頑張ってきた先輩や仲間、そしてど
んな時も温かく見守ってくれる両親や最後の時まで私を応援
してくれた今は亡き祖父。数えきれないほどの人々の応援の
中でここまで来ることができました。インターハイでは感謝
の気持ちを胸に全国入賞を目指して頑張ります。

今後ともよろしくお願い致します。

長野市陸協新部長 普及強化部長

中津 敦喜先生 (篠ノ井高校教員)



日頃より、長野市陸協には大変お世話になっております、篠ノ井高校の中津です。今年度より普及強化部長を仰せつかり、身の引き締まる思いでいっぱいです。私の出身は飯田市ですが、長野市に住み、練習環境の良さ、選手の練習に対する意気込み、指導者の熱意を肌で感じ、指導の原動力になっています。

2020年には東京オリンピックが開催されます。そのような中、普及強化部としましては、長野市からさらに多くの選手が活躍できるよう副部長や小・中・高校の指導者と情報交換し、講習会をはじめとした活動を通じて連携をとりながら、微力ではありますが全国、世界そしてオリンピックへ出場する選手を育成できるようサポートして参りたいと思います。是非ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

7月5日長野メルパルクにおいて、理事会に引き続き、長野市陸協 H25 年度栄章受章者祝賀会・第98回日本陸上競技選手権大会男子三段跳優勝 石川和義先生祝賀会、新規会員歓迎会が盛大に開催された。



公財 長野市体育協会 表彰 H26年6月9日



長野市陸協祝賀会 H26年7月5日

去る8月3日、長野市営陸上競技場会議室で北信地区審判講習会が開催され、24名あまりの審判員が研修された。

講師は藤森県陸協競技運営委員長。

午前中には、新規取得者の講習会が開催され、20名が西村審判部長の講義を熱心に聞き入った。



◆ 事務局から再度のお願い ◆

長野市陸協新規会員紹介 (敬称略で失礼します)

[異動] 熊谷 憲 (H19B, 東北中学校教員) 飯伊支部 緑ヶ丘中学より <上記写真右端> (H26新規取得者)

登玉 貴子 (長野東高校教員) 経理副部長・理事 <上記写真中央>

原 大輔 (名鉄観光サービス(株)長野営業所)

石川 和義 (長野吉田高校教員) <上記写真左端>

峰村 いずみ ((株)ながのアド・ビューロ)

吉原 沙季 (アスザック(株))

- ・登録内容(勤務先・住所等)に変更がある場合は、総務部長まで連絡をお願いします。
- ・第56回北信地区陸上競技選手権大会に向けて、広告をお願い致します。
- ・審判意向調査...ご投函頂きましたか? まだの方は至急お願いします。
- ・富士通陸上競技部クリニック(最終ページ)の参加希望者は至急お申し込み下さい。

◆ 編集後記 ◆

2014年度も後半戦となってしまいました。5月発行予定が大幅に遅れてしまったことをお詫び申し上げます。9-10月は試合のピークです。皆様のご協力をお願い申し上げます。

広報部長 田島康彦

ご健闘を祈る

Track & Field

ATHLETIC UNIFORM

スクールスポーツウェア専門

しなのメイト株式会社

(本社) 〒389-0606
埴科郡坂城町大字上五明992-2
TEL. 0268-81-1336 FAX. 81-1337
(新潟営業所) 〒950-0823
新潟市東区東中島2-18-41
TEL. 025-256-5215 FAX. 256-5216

THIS IS A CHALLENGE TO ME.



柏原 竜二

RYUJI
KASHIWABARA

主な戦績：
08年長野県陸上1区陸上(4代7位)
08年全日本大学陸上2区陸上(2代13位)
09-10年陸上競技連盟陸上
-区別前(区別記録保持)
11年陸上競技連盟3区陸上



ギタウ・ダニ
エル

GITAU DANIEL

主な戦績：
09年日本インカレ5000m
10年陸上競技連盟陸上(2区)
10年全日本インカレ10000m 2区
10年全日本インカレ10000m 2区
10年全日本インカレ10000m 2区

富士通の選手と汗を流そう!



平賀 翔太

SHOTA HIRAGA

主な戦績：
12年日本インカレ10000m 3区
(日本人1位)
10年度大学陸上3区
出身地：長野県



千葉 健太

KENTA CHIBA

主な戦績：
10-11-13陸上競技連盟陸上
11区別前
出身地：長野県

富士通陸上競技部クリニック参加予定者

監督：福嶋 コーチ：高橋・井野 選手：柏原・ダニエル・平賀・千葉

富士通陸上競技部 長距離クリニック

選手達が、毎日行っているウォーミングアップやストレッチの基本指導から行います。
選手と共にトラックを走ってみましょう！ サイン会も実施します！

2014.9.20(土) 9:00~12:00

場所：長野運動公園 陸上競技場

主催：富士通株式会社 共催：公益財団法人長野市体育協会

後援：長野市教育委員会／長野市陸上競技協会

お問い合わせ：富士通株式会社長野支社 総務部 Tel.026-462-2220